

# ゆうあいだよ

№175

令和3年(2021年)11月22日発行

障害者支援センター  
かしのきの里  
在宅障害者デイ・サービスルーム  
書写障害者デイサービスセンター  
広畑障害者デイサービスセンター  
障害者やすらぎルーム 障害者体育館

あぼしりサイクル事業所  
ぱっそ・あ・ぱっそ

早いもので、冬の足音が聞こえ始めています。新型コロナウイルスとの付き合い方も少し慣れて来ていますが、乾燥する季節になりさらに気を引き締めていかなければいけません。それでも、たまには外出をしたり気持ちをリフレッシュしたいものです。

ルネス花北成人部 地域生活係では、グループホーム研修会を開催し、グループホームに関わる情報共有の機会をスタッフに提供させて頂いています。前季号から2回にわたりグループホームの現状についてお伝えしております。今回が最終回となります。是非、ご一読ください。

## ゆうあいギャラリー



タイトル

## 「ようこそ しょしゃカフェ」

書写障害者デイサービスセンター

広く活動内容を知っていただくために、利用者の写真を多く掲載しています。  
掲載写真は、ご本人の了承を得たうえで使用させていただいています。

## グループホームの現状について (part2)

～姫路市内のグループホーム事業所の聞き取りより～

ルネス花北成人部 地域生活係  
中川繭子 (かしのきの里)

地域生活係はルネス花北成人部の考える地域展開の一つとして、グループホーム研修会を企画し、市内グループホーム事業所の職員とともに、日々の支援について一緒に考えたり、情報共有や横のつながりを通して、グループホームの現状や課題について見識を深める機会をもっています。

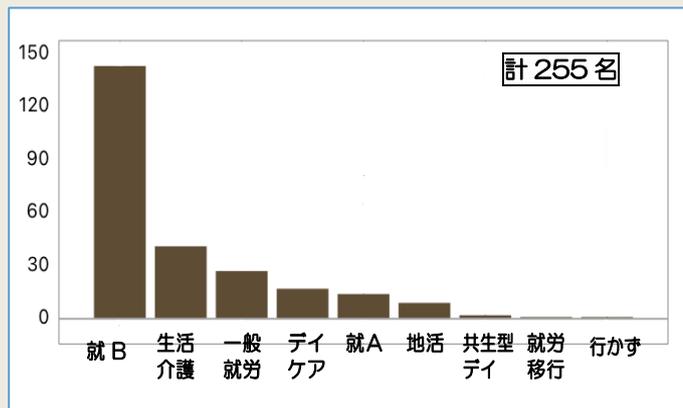
今回は、市内グループホーム事業所に聞き取りした情報をもとに、グループホームの基本的な考え方や、市内グループホーム事業所と入居者の大まかな特徴について記しました。今回は、入居者の活動状況や、運営・支援体制、費用面などにポイントをおきながら、引き続き市内グループホームの現状を紹介します。

※各項目は、令和3年3月現在の状況について、姫路市内のグループホーム（特に記載がない限り58事業所）にお伺いしたものです。

### 日中活動状況について

(回答事業所 53 事業所)

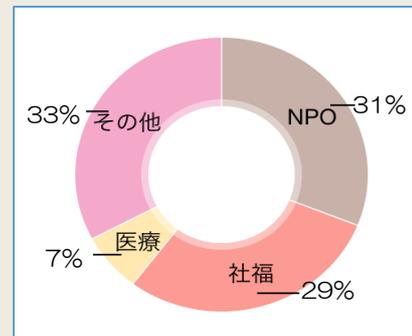
日中活動	入居者数
就労継続支援B型	143
生活介護	41
一般就労	27
デイケア	17
就労継続支援A型	14
地域活動支援センター	9
共生型デイ	2
就労移行支援	1
どこも行かず	1
計	255



入居者の日中活動の状況は、「就労継続支援B型」に通所している方と「生活介護」の方で大部分を占めています。一般就労や就労継続A型に通っておられる方は、自立を目指し、一人暮らしに移行する方もおられるようです。

### 運営主体について

運営主体	事業所数
NPO 法人	18
社会福祉法人	17
医療法人	4
その他（株式会社など）	19
計	58

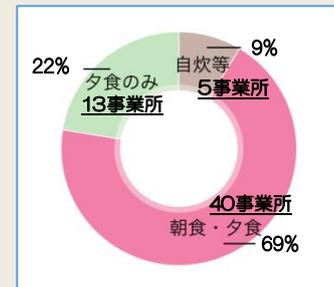
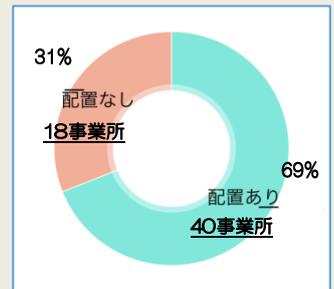


グループホームの運営主体はNPO 法人 31%、社会福祉法人 29%、最近では株式会社など営利法人が運営するグループホームも増えてきました。

### 支援体制（夜間支援従事者・食事提供）について

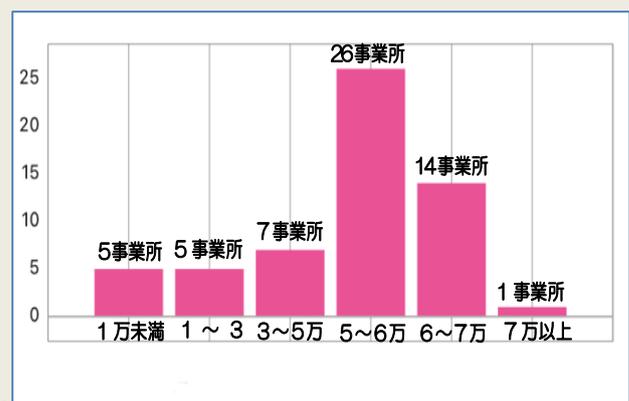
夜間支援体制は、グループホームによって夜勤や宿泊体制のあるところと、人員配置のないところがあります。人員配置がない場合も、同じ法人内の病院や入所施設と連携するなど、緊急時の連絡体制が確保されているところもあります。

食事提供は、朝食・夕食を提供するホームが多いです。平日の昼食は、基本的には日中活動で摂る方がほとんどです。夕食のみのホームは、朝食はパンを買うなど本人自身が用意したり、用意が難しければレンジで温めるだけで食べられるように、前日に世話人が用意してくださるところもあります。夕食は、ダイニングで一緒に食事したり、勤務で遅くなる方は時間をずらしたり、時には居室で食事したりと、個々の状況に合わせて柔軟に対応されています。休日は、家族のもとに帰ったり、ホームで過ごしたりと、それぞれの過ごし方があります。ホームで過ごす人は、自炊したり、外食したり、ホームのみんなでクッキングを楽しんだり、世話人がご飯を作ってくれたり等、一人ひとりに合わせた食事の仕方があるようです。



### 月あたりの入居費用(事業所別)について

	家賃	食費	水光熱 共益費	その他 ※1
なし(実費)	—	5	6	24
1万円未満	—	2	18	32
1~2万円	2	13	32	2
2~3万円	10	26	2	—
3~4万円	23	11	—	—
4~5万円	20	1	—	—
5~6万円	2	—	—	—
6~7万円	—	—	—	—
7万円以上	1	—	—	—



※1：消耗品、衛生用品、新聞代、ベッドリース代、金銭管理代等です。

#### 事業所別月当たりの生活費の内訳

グループホームで生活するために必要な費用として「家賃」「食費」「水道光熱・共益費」その他消耗品費、金銭管理費等があり、グループホームによって設定額や内容に違いがあります。例えば、水道光熱費は値段を一律に設定して請求額に加えているところや、各入居者が実際使用した分を実費として支払うところ等があります。食費も、1ヵ月分一律の金額で請求しているところや、実際提供した回数分だけ請求するところもあります。自炊や本人が用意をする人は、実費負担で徴収しないところもあります。

右のグラフを見てみると、入居費用を5~6万円で設定しているホームが多いです。できるだけ入居者自身の収入で生活ができるようにと考えているホームも多かったです。入居している方の収入源は「障害基礎年金」「賃金・工賃」が主です。生活保護を受給している方もおられます。また、入居者が独立した個人として生きていくために、地域での一人暮らしを支援するための家賃助成制度もあります。

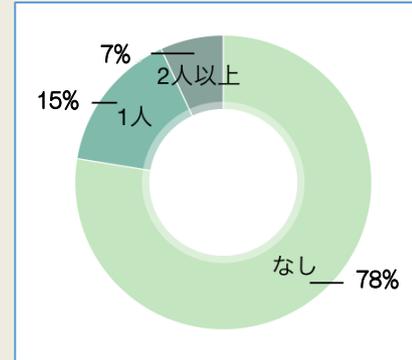
《参考》 障害基礎年金 1級：月額81,343円 2級：月額65,075円（令和3年度）

グループホーム（共同生活援助）の支給決定を受け、サービスを受ける利用者に対し、所得の状況に応じて、市町村は居住に要した費用について「特定障害者特別給付費」を支給することになっています(10,000円)。また、「姫路市グループホーム利用者家賃負担軽減事業」で、利用者(非課税世帯)が支払う1月の家賃相当額から10,000円を控除した額の2分の1の額を助成しています。

(上限額15,000円)。よって、所得や家賃の額により最高25,000円の助成を受けることができます。

### 空き状況について

空き状況	事業所数
なし	45
1人	9
2人	2
3人	1
4人以上	1



空きがある事業所のなかには、入居前提での体験利用をされている方も何名かおられました。空きができて、次の入居者が2、3日で決まってしまうという事業所もありました。空きがある理由として、新たに開設された事業所でまだ入居者が決まっていない、退居者ができたなどが挙げられます。

《退居理由を聞いてみました》

- ・グループホームで経験を積み、一人暮らしができるようになった。
- ・入院など、ホームでの暮らしが難しくなった。
- ・入居者や支援者と合わなかった。
- ・家族離れができなかった。
- ・家賃滞納 など

しかし、聞き取りをおこなうなかで、長く安心して暮らしている方が多い印象をもちました。

### 体験利用について

殆どの事業所で、空きがある(居室がある)場合に体験利用を受け入れてもらえるようです。体験利用をするには「共同生活援助(グループホーム)の体験利用」制度の支給決定を受ける必要があります。この制度を利用することで、グループホームの入居を検討されている方が、実際にグループホームを体験して、本入居へとスムーズにつながっています。

《支給決定の流れ》

各市町村の障害福祉課にグループホーム体験利用の申請をします。(相談支援事業所へ相談しましょう。)その後、必要書類を作成、提出し、支給決定の流れになります。

《支給内容について》

年間50日、連続で30日の利用ができます。1泊から大丈夫です。

### 最後に

姫路市内のグループホームの現状について、その形態や特徴を中心にまとめてみました。少しイメージが深まったでしょうか？

平成元年に誕生したグループホーム制度には、地域のなかにある普通の建物で、普通の家庭的な生活規模で、一人の地域住民として普通の暮らしを求め続ける、そのような願いが込められていました。それから30年以上が経過し、外観やサービス類型に見られるように、ハード面やソフト面でもグループホームの様相が多様化してきました。しかし、そこに住む人の思いは、昔も今も変わらないことでしょう。誰もが、安心して自分らしい納得のいく毎日を送り、充実感ある生活を実現したいものです。

## ルネス花北成人部利用者自治活動

ルネス花北成人部では、「私たちのことは私たち抜きで決めないでほしい」という言葉に表現されるピープルファーストの考えに共感し、利用者の自主的・自治的な活動を大切に、支援しています。利用者の自治組織がある所やない所もあり活動内容も様々ですが、それぞれの事業所でどんな活動が行われているのかをご紹介します。

### 障害者支援センター『コスモス会』

障害者支援センター（以下、センター）では、毎月第三木曜日にコスモス会役員会を開催しています。映画鑑賞やボウリングなどの行事の企画、花の北福祉まつりの模擬店出店、忘年会・新年会、成人を祝う会など、利用者が生き活きと過ごすことができるように主に楽しいイベントの企画を行っていましたが、コロナ禍により多くの行事を見送ることになりました。役員会では、安心安全を確保し、新しくみんなが楽しむことができることは何かを話し合っています。昨年は、花の北福祉まつりが中止となった代わりに、センター内で「コスティバル（コスモス会フェスティバル）」を開催しました。

昼食は、みんなにアンケートを取り、焼きそばや唐揚げなどコスモス会からリクエストしたメニューを給食で作ってもらい、パッケージなどを屋台風にしてお祭り気分で盛り上げました。イベントも利用者にアンケートを取り、ボウリングや千本引きなど盛り上がる企画を実施することができました。役員を中心にポスターや飾りつけを行い、事前に動画撮影したダンスやマジックショーを放映するなど、利用者が意欲的に取り組み、コスティバルを盛り上げてくれました。

まだコロナ禍で、行事が思うように開催できない中、「またコスティバルをしよう！」という声も上がり、今年も開催できるように利用者、職員が一丸となり計画している最中です。今後も、コスモス会と職員が一緒になり、様々な取り組みを行い、センターに通所して楽しく過ごし、仕事をするモチベーションにもつなげていきたいと思えます。

### かしのきの里『コスモス会』

かしのきの里も障害者支援センターと同じく「コスモス会」という利用者自治会があり、1年を通して様々な活動を行っています。イベントとしては、新年会や忘年会などがあります。また、毎月1回「利用者と職員の話し合い」の場があり、クリーン作業班、陶芸班、就労移行班の利用者全員と職員が食堂に集まって、話し合いが行われます。話し合いは、コスモス会会長と職員が前に立って、利用者から意見を募り、ホワイトボードに書き込んで検討していきます。「道具の整理整頓をきちんとしてほしい」など呼びかけや、「古くなって使いにくい作業道具を新しくしてほしい！」など、事業所に対しての要望も挙がります。行事で外出企画があるときは行き先のリクエストを募ったりします。話し合いでの意見交換を通じて、皆さんが毎日気持ちよく仕事ができる環境を整えています。



## 広畑障害者デイサービスセンター『利用者懇談会』

広畑デイには利用者自治会はありませんが、年に数回の利用者懇談会を行っています。

その一つは『給食懇談会』で、毎年 1 月に実施しています。栄養士・調理員と話せる機会として人気があるうえに、給食の感想やこんなメニューを献立に取り入れてほしい！という意見が活発に飛び交う場となっています。ご要望にお応えして献立に加わったメニュー（ハンバーガー、カツカレーなど）もありますし、パンの種類も増えました。これからも可能な範囲で皆さんの意見を取り入れていきたいと思っています。

もう一つは『所長と話そう会』で、年に 1~2 回実施し、定例の 3 月には 1 年間を振り返って、そして次年度に希望することを話しています。特に「コロナ禍で行事の中止や活動の制限もありますが、広畑デイは楽しめていますか？」という質問には、「休みにならず通所できて良かった」「行事はなくてもミニイベントがあって良かった」「ずっと部屋の中にいるから散歩がしたい」など率直な意見を伺うことができました。その他、職員の対応、送迎、入浴、希望する活動などを話題としています。話せる方、イエス・ノーのサインがある方、発声で意思表示される方、話を聞くのが好きな方など、毎回 5 名程度の小グループ編成で実施しています。ゆっくり話される方のペースも守りながらお話を伺っています。

今年度から『はなそうよ』という新しい活動メニューが加わっています。主にイベントの内容を話し合ってきましたが、これからは上記のような懇談会をはじめ、テーマを設定した意見交換や勉強会など、利用者の皆さんの意見や希望がより実現できるような活動メニューに発展していけば良いなと考えています。



## 書写障害者デイサービスセンター『給食懇談会』

書写デイでは定期的に給食懇談会を行っています。

この懇談会では栄養士と調理員が中心となり、利用者のみなさんから給食の内容や献立に関する希望を聞き、その意見を給食に反映できるよう取り組んでいます。

今年は 8 月と 9 月にリクエストメニューを提供するにあたり、懇談会を開催して利用者のみなさんから好きな食べ物を募り、その中から多数決でメニューを決めました。8 月のリクエストメニューは大人気の唐揚げで 9 月はロコモコ丼に決まりました。ロコモコ丼はおしゃれな盛り付けで cafe メニューのようでした。次は「秋の行楽弁当」を作るので、その献立を懇談会で相談し、みんなでワイワイ言いながらお弁当の主食や副食を決めていきます。今から待ち遠しくてどんなお弁当になるのかとても楽しみです。

給食はカロリーや栄養摂取量を考えながらも、目で見て味わうことも忘れず日々提供しており、手作りデザート登場の日には利用者のみなさんから「おいしそう！」と歓声が上がります。食べることは楽しみの一つであるため、今後も楽しくおいしい食事ができるよう利用者のみなさんの希望をしっかりと受け止め、給食に反映していきたいと思えます。

## あぼしりサイクル事業所『利用者自治会』

あぼしりサイクル事業所の利用者自治会は、定例の役員会を中心に親睦を深めるための行事の企画や、職場でのルールやマナーについて利用者みんなで作え、働きやすく活気にあふれた職場になることを目指して活動しています。以前は、年 1 回の親睦旅行や新年会を企画し、あぼしりサイクル事業所を退所した OB・OG の方にも声をかけて仕事の息抜きの行事を楽しみにしてきました。しかし、コロナ禍により楽しみにしていた行事も中止せざるを得ませんでした。その中でも親睦旅行や新年会の行事に代わるものとして、昨年度はいつもよりも豪華な仕出し弁当を注文し、昼休憩にみんなですっきり味わい仕事の合間の息抜きとしました。

また、感染拡大の影響により社会全体の働き方や生活様式が変化していることを踏まえ、あぼしりサイクル事業所での作業や過ごし方について、感染防止対策を考慮したルールと一緒に考え、みんなで行えるように活動しました。

まだまだ新型コロナウイルスの影響は続いていくと思われ、依然として楽しみにしている行事も企画することが難しい状況ではありますが、利用者自治会を通して利用者の皆さんそれぞれが自発的に発信したり行動することができ、安心して働ける職場になるよう活動してきたいと思えます。普段の仕事も簡単な作業ではありませんが、みんなで一丸となつてがんばっていきたく思います。

## 在宅障害者デイ・サービスルーム『教室代表者会』

在宅障害者デイ・サービスルームでは 12 の教室（音楽、手芸、ちぎり絵、パソコン A・B・C、スポーツ、絵画、習字、料理、アートセラピー、フラワーアレンジメント）を開講しており、利用者の方はそれぞれの希望や目的に合わせて教室を選択しています。それぞれの教室には立候補や推薦によって選ばれた代表者を 1 名置き、2 ヶ月に 1 回、各教室の代表者と室長との懇談の場として『教室代表者会』を行っています。教室代表者会では、代表者から「〇〇に向けて制作に取り組んでいます」「新しいメンバーも加わり、みんなで楽しく活動しています」「教室で必要なので〇〇を購入してほしい」など、それぞれの教室で行っている活動内容や様子について報告してもらったり、各教室からの意見や要望を伝えてもらっています。室長からは、行事や活動予定の他、デイサービスの利用や教室活動において協力をお願いしたいことや注意事項等があればお伝えしています。

教室代表者会はいつも和やかな雰囲気で行われており、後日、代表者から教室のメンバーに内容の報告をしてもらっています。教室代表者の任期は年度ごとの 1 年となっていますが、任期終了後も引き続き立候補されるなど意欲的な方も多く、それぞれの方が教室の代表として責任を持って務めています。



## ルネス花北成人部事業所一覧

姫路市立 <b>障害者支援センター（多機能型）</b> 〒670-0804 姫路市保城 309 番地 1 TEL 079-282-2384 FAX 079-224-6751	
就労移行支援	就職訓練班
自立訓練	自立訓練班
就労継続支援B型	喫茶班「caféぴあのぴあ〜の」「caféあつと・ゆ〜る」「ふれあい」 製菓班「クッキー工房 檉の詩」・洗車班・作業第一班
生活介護	軽作業班・個別作業班・活動班
姫路市立 <b>かしのきの里（多機能型）</b> 〒671-2246 姫路市打越 1352 番地 6 TEL 079-267-0202 FAX 079-267-0445	
就労移行支援 就労定着支援	就労移行班
就労継続支援B型	クリーン作業・陶芸班
生活介護	姫路市立 <b>書写障害者デイサービスセンター</b> 〒671-2203 姫路市書写台二丁目 7 番地 1 TEL 079-267-2636 FAX 079-267-2794
生活介護	姫路市立 <b>広畑障害者デイサービスセンター</b> 〒671-1116 姫路市広畑区正門通三丁目 2 番地 2 TEL 079-239-1888 FAX 079-239-1898
地域活動支援センターⅡ型	姫路市立 <b>在宅障害者デイ・サービスルーム</b> 〒670-0804 姫路市保城 309 番地 1 TEL 079-282-2384 FAX 079-224-6751
障害児・者一時保護施設	姫路市立 <b>障害者やすらぎルーム</b> 〒670-0806 姫路市増位新町二丁目 37 番地 TEL 090-2598-9237 FAX 079-224-3173
体育施設	姫路市立 <b>障害者体育館</b> 〒670-0806 姫路市増位新町二丁目 37 番地 TEL 079-288-7122 FAX 079-224-3173
就労継続支援A型	<b>あぼしりサイクル事業所</b> 〒671-1236 姫路市網干区網干浜 4 番地 1 エコパークあぼし内 TEL 079-273-8889 FAX 079-273-8870
相談支援事業所	<b>ぱっそ・あ・ぱっそ</b> 〒670-0955 姫路市安田三丁目 1 番地 姫路市総合福祉会館 2 階 TEL 079-240-6702 FAX 079-240-6705

ゆうあいだより No.175 令和3年(2021年)11月22日発行  
 発行 姫路市総合福祉通園センター成人部  
 編集 「ゆうあいだより」編集